令和5年度 指定管理者年度評価シート

施設名称	大阪市立此花作業指導所
施設所管課・担当	福祉局障がい者施策部障がい福祉課施設グループ（担当：井口・井上）
条例上の設置目的	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（平成17年法律第123号）第5条第13項に規定する就労移行支援、同条第14項に規定する就労継続支援及び同条第15項に規定する就労定着支援を行うことを目的とする。
業務の概要	（1）此花作業指導所の管理・運営（建物・設備管理含む） （2）利用者に対する作業を通じた就労支援及び生活訓練の実施 （3）利用者の就労や地域生活等に関する各種の相談 （4）地域との交流やボランティアの受入 等
成果指標	利用者満足度／施設利用率
数値目標	80%以上／80%以上
指定管理者名	社会福祉法人大阪市障害者福祉・スポーツ協会
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日（5年間）
評価対象期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	利用者満足度	施設利用率
数値目標	80%以上	80%以上
年度実績	93.8%	87.8%
達成率	117.2%	109.8%

利用状況

		当年度	前年度	前年度比
延利用人数	就労移行支援	39人	697人	▲ 658人
	就労継続支援B型	8,464人	7,934人	530人
稼働率 (定員比)	就労移行支援	2.7%	47.8%	▲45.1%
	就労継続支援B型	102.9%	96.0%	6.8%

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
就労支援事業収入	実績	14,082,332	14,408,583	2,924,332	就労継続支援事業B型の利用者増による就労支援事業収入の増
	計画	11,158,000	11,158,000		
自立支援費等収入	実績	66,050,106	65,474,452	1,916,106	就労継続支援事業B型の利用者増による訓練給付費収入の増
	計画	64,134,000	63,316,000		
その他収入	実績	1,517,760	1,424,800	▲ 558,240	
	計画	2,076,000	1,829,000		
合計	実績	81,650,198	81,307,835	4,282,198	
	計画	77,368,000	76,303,000		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
就労支援事業支出	実績	14,082,332	14,408,513	2,924,332	就労継続支援事業B型の利用者増による作業工賃の増
	計画	11,158,000	11,158,000		
人件費支出	実績	43,855,003	48,487,381	▲ 6,271,997	欠員による給与等の減
	計画	50,127,000	49,894,000		
事務費支出	実績	7,473,155	6,481,562	2,048,155	消耗品費、業務委託費、設備保守費の増
	計画	5,425,000	5,133,000		
事業費支出	実績	9,087,047	8,368,534	144,047	
	計画	8,943,000	8,173,000		
その他支出	実績	7,152,661	3,709,805	5,437,661	福祉車両購入費の増
	計画	1,715,000	1,945,000		
合計	実績	81,650,198	81,455,795	4,282,198	
	計画	77,368,000	76,303,000		

令和5年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価（1次評価）

(1) 成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度	117.2%	A	利用者サービス向上に努め、目標を上回る満足度となり、前年度の達成率112.1%を上回る結果となったことから左記の評価とする。
施設利用率	109.8%	B	-

(2) 市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
サービス水準の確保を図りながら、臨時職員の配置や無洗米の使用、照明のLED化を進めるなど、管理経費削減に取り組んでいる。	B	-

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	-
事業計画の実施状況	B	-
施設の有効利用	B	-
社会的責任・市の施策との整合性	B	-

5 利用者ニーズ・満足度等

(1) 調査方法 サービス利用者に対してアンケート調査を実施
(2) サービス利用者32人（総数39人） 回答率82.1%
(3) 質問項目 ア 基本的な事項（利用期間、利用理由等） イ 就労支援内容（行事内容及び支援内容等） ウ その他
(4) 結果 ・ 此花作業指導所での職員の対応や態度、雰囲気が良いと答えた方が96.8%、個別支援計画に利用者や家族、支援者の希望が反映されていると答えた方が90.6%となっている。 ・ 此花作業指導所の特徴として、利用者の個性に応じた指導を行っている、安心して通所できる、作業内容が多様で楽しいなどの声があり、利用者や支援者の満足度は高い。

6 外部専門家意見

・ 社会情勢の変化等も踏まえ、これまでにない新しい分野・形態・業種での就労先・訓練先の確保について積極的に取り組んでいただきたい。 ・ 障がい者の通所事業所運営法人として利用者ニーズを捉えたうえで課題の洗い出しやその対応方法を法人として考えていただきたい。研修等により、アンケート調査の実施や分析の改善に努めていただきたい。

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	利用者満足度について高い評価を得ている。 施設利用率の面では全体的に成果指標を達成しているものの、就労移行支援事業単体として見た場合の利用者が少なく、利用者の確保についてはさらなる工夫が求められる。
市費の縮減	B	サービスの水準を維持しながら照明のLED化を行うなど経費の削減に取り組んでいる。
管理運営の履行状況	B	就労移行支援事業、就労継続支援B型ともに平均工賃が増加していることは評価できるが、就労移行支援事業の利用者数が減少していることについて、施設の有効利用の観点からも利用者確保に向けた積極的な取組が必要。
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	-